



平成29年10月1日(日)、砂防会館別館 シェーンバッハサボーにて「日本固有の防災遺産-立山砂防の防災システムを世界遺産に-」というテーマで世界遺産登録推進シンポジウムが開催されました。このシンポジウムでは、これまでの調査研究の集大成として、また、富山県で来年開催される国際防災学会(インタープリメント)を見据え、世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッションを通して、立山砂防の歴史的・文化的な価値や魅力、さらに世界遺産登録へ向けた今後の戦略について議論がなされました。

世界遺産登録推進シンポジウム2017  
『立山砂防国際シンポジウム』

-日本固有の防災遺産-立山砂防の防災システムを世界遺産に-

- 日時：平成29年10月1日(日) 13:30~17:00
- 会場：砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー

~プログラム内容~

- ◆講演1：『わが国防災遺産の系譜と立山砂防』  
北河 大次郎 氏(独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所  
保存科学研究センター近代文化遺産研究室長)
- ◆講演2：『自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防』  
石井 隆一 氏(富山県知事)
- ◆立山砂防の世界遺産登録推進アニメ映像上映
- ◆パネルディスカッション

講演1 『わが国防災遺産の系譜と立山砂防』



北河 大次郎 氏  
(独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所  
保存科学研究センター近代文化遺産研究室長)

講演2 『自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防』



石井 隆一 氏 (富山県知事)

パネルディスカッション

国内外の有識者を交えて「国際的に見てどうか」、「防災遺産としてどうか」、「今後の登録に向けて」とのテーマで議論されました。



コーディネーター  
西村 幸夫 氏  
(日本イコモス国内委員会委員長)

パネリスト  
アルフレッド・ルイス・コンティ 氏  
(イコモス副会長)

パネリスト  
郭 旃(グオ・ヂェン) 氏  
(前イコモス副会長)

パネリスト  
松浦 晃一郎 氏  
(第8代ユネスコ事務局長)

パネリスト  
北河 大次郎 氏  
(東京文化財研究所近代文化遺産研究室長)

パネリスト  
石井 隆一 氏  
(富山県知事)

来賓挨拶



熊本 達哉 氏  
(文化庁 文化戦略官)

栗原 淳一 氏  
(国土交通省 水管理  
国土保全局砂防部長)

アニメ映像上映



安政年間の災害の状況から、現在の砂防事業の取組みまで分かりやすくまとめたアニメ映像が上映されました。